



令和4年8月26日（金）発行

学校だより No.7

沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

《目指す生徒像》 ○ 向学 ……自ら学ぶ生徒
○ 礼節 ……思いやりのある生徒
○ 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を伸ばすワンポイントアップ大作戦～」

長い2学期、「継続は力なり」で力を伸ばそう（始業式の校長の話より）

いよいよ学校生活の充実期である2学期が始まりました。長い2学期を充実させるためには、まず良いスタートを切ることです。夏休み気分を切り替え早く学校生活のリズムに慣れ、落ち着いて学校生活を送ることが大切です。

次に、自分に適した具体的な2学期の目標を設定することが大切です。1学期の反省を踏まえ、自分が重点的に取り組まなければならない具体的な目標を設定しましょう。

そして、何よりも大切なことは「粘り強く取り組む」ことです。「有言実行」と言いますが、目標を立てて終わりにするのではなく、必ずその達成に向けての取組を進めていかなければ意味が無いということです。しかも、「粘り強く」です。有名な野球選手だったイチロー選手は、「夢や目標を達成するためには一つしか方法がない。小さなことを積み重ねること」と言っています。天才と呼ばれたイチロー選手ですが、実は素晴らしい活躍の陰には、小さなことを継続してコツコツと取り組んだ努力があったのです。

長い2学期だからこそ、日々の継続した努力の積み重ねによって自分の力をワンポイントアップさせることができます。全員の力をワンポイントアップさせ西中を益々素晴らしい学校にしていきましょう。

保護者の皆様には、夏休み中の学習の充実や安全・健康についてご協力をいただきまして大変ありがとうございました。長期休業明けは、お子さんが学校生活への不安や悩み等を抱えやすい時期です。心配ごと等がありましたら、遠慮無く学校にご連絡ください。

県総体・中部地区吹奏楽コンクールで健闘！！

市総体の激戦を勝ち抜き沼田市の代表として県総体に、テニス男子個人の伊與久さん・佐々木さんペア、卓球女子団体の稲田隼さん・小林さん・石坂さん・佐々木さん・島田さん・中澤さん・稲田結さん・見城さん、卓球男子個人（シングルス・ダブルス）の冨澤さん・高野さん、柔道男子個人の生形さん・女子個人佐藤さん、陸上男子200mの田村さん・男子砲丸投げの鈴木さんが出場しました。

また、吹奏楽部が中部地区吹奏楽コンクールに出場し、見事な演奏を披露し銅賞を獲得しました。

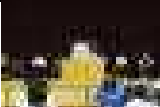
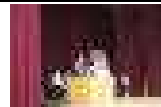
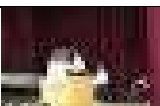
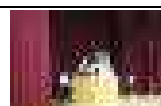
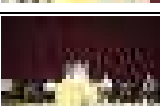
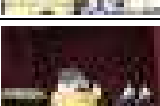
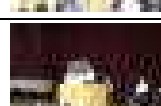
県大会やコンクールに向け暑い中でも一生懸命に練習し、大舞台でその力を発揮して最後まで全力を尽くし素晴らしい試合・演奏をしたことは、今後の大きな成長に繋がる貴重な体験になったと思います。そして、県大会で全力を尽くした姿は、「やる気・勇気・根気」の姿を全県に示してくれました。

中学生らしい視点で自分の意見を発表＜校内少年の主張大会より＞

自分の意見を力強く発表する「校内少年の主張大会」が、1学期末の7月15日（木）に開催されました。各クラスでの選考を経てそれぞれの代表者が、自分の意見を堂々と主張しました。中学生らしい視点で、将来に向けて夢を持つ大切さややりたい自分に向けて努力することの大切さ、また現在の生活を充実させるために物事に継続して取り組みががんばることの大切さやお互いに協力し合い助け合うことの大切さ、更に現代的課題に目を向け自他の権利について考えたり、SNSが発達し活字離れが進む中で本の楽しさを伝えたりするなど、素晴らしい発表がされました。

また、聞いている生徒達も真剣に耳を傾けていました。その表情から、発表された内容を吸収し、自分の生き方や生活の改善等に生かそうとする真剣さが伝わってきました。

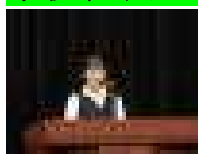
各クラス発表者の紹介（発表順・敬称略）

 1年1組 萩原 碧音 「夢」	 2年2組 千明美羽音 「になりたい自分になるために」
 3年2組 林 蹴斗 「応援の力」	 1年2組 高橋美衣菜 「自分の権利 他人の権利」
 2年1組 只野 栞稟 「未来の私」	 3年2組 宮下 絢羽 「チームのため 自分のため」
 2年2組 下飯 尊生 「言葉の重さ」	 3年1組 石坂 舞 「継続の大切さ」
 1年1組 櫛淵 咲來 「盟友」	 3年1組 戸丸 紗愛 「がんばること」
	 1年2組 篠原 涼司 「いつまでも残しておきたいもの」

※最優秀賞：3年2組 宮下 絢羽さん



学校代表として自分の主張を堂々と発表＜利根沼田少年の主張大会より＞



利根沼田少年の主張大会が、新型コロナ対策を講じながら川場村文化会館において8月20日（土）に開催されました。本校からは、校内少年の主張大会で最優秀賞を受賞した3年生の宮下絢羽さんが出場しました。校内大会で発表した内容に更に手を加えて内容の濃い主張に手直しし、部活動を通して自分を良い方向に変えることがチームを変えることに繋がり、更にそれを将来に生かしていくことの大切さについて発表してくれました。

各校の代表が集まりしかも後半最初の発表で大変緊張する中、夏休み中に練習した成果を十分に発揮し堂々と発表することができました。

《コラム～校長室より・校長の独り言～》

始業式の日朝、私が体育館に行く渡り廊下で用事を済ませている時に、ふと校舎の方を見ると、これから教室に行こうとする生徒の姿が見えました。すると、その生徒が私の方に向かって会釈をしてくれたのです。だいぶ距離がありましたが、遠くから丁寧に会釈をしてくれたのです。とても嬉しい気持ちになり、2学期のスタートが素晴らしい日になりました。ほんのちょっとした心遣いが人を温かい気持ちにするということを、その生徒から改めて教えてもらいました。